

子どもを産み育てる「夢」 — 保育のあり方を

足柄上郡保育士会では、「うんちで健康管理」をテーマに『うんち』が健康のパロメーターになっていることを、子ども達に視覚的に訴えようとうんちシスターを作製。うんちカレンダーや保護者向けのプリントを作製したり、『うんち』という生活習慣の

「子どもと絵画」のテーマのもと相模原市の継続研究会は、子どもと絵画活動と題し

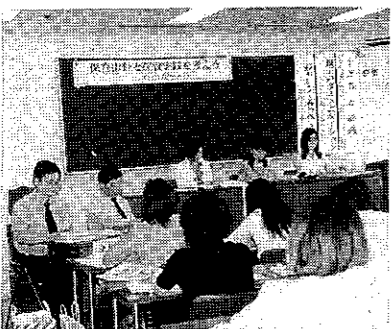
第三会場

保育指針と 保育実践を考える

— 幼児 —

「子どもと絵画」のテーマのもと相模原市の継続研究会は、子どもと絵画活動と題し

「子どもと絵画」のテーマのもと相模原市の継続研究会は、子どもと絵画活動と題し



「うんち」という生活習慣の

第二会場

保育指針と 保育実践を考える

— 乳・幼児 —

県保育士会保育内容研究会は、最近気になる子ども達の姿を0歳〜2歳の各グループに分け、「乳児が健康に過ごすためには」食事・睡眠・病児保育・あそび等様々な視点から研究された。

ひとつが生活リズムの流れに大きな影響を与えていることが実感でき、改めて健康の大切さを考える研究発表だった。

「描くことを通したある試み」

「描くことを通したある試み」

「描くことを通したある試み」

ある社会をめざして 考える

第35回 神奈川県保育事業大会

省庁の改編、政治の刷新と、大きな転換期をむかえる新世紀の幕開けとなりました。混沌とした社会情勢の中にあっても、いつも基本に返り、保育とは何かという問いかけをしてくれるのが、この保育事業大会であるように思います。

式典

平成十三年五月十二日(土)、県社会福祉会館に五百余名の保育を担う力が集い、第三十五回神奈川県保育事業大会が開催され、神奈川の保育が二十一世紀に、新たな歴史を刻む力強い一歩となりました。



第一部の式典は、多くの来賓をお迎えする中で、『花のおさなご』の歌声にはじまり、児童憲章の朗読で、気持もひきしまる中、富田保育会会長からの主催者挨拶で開会しました。

【研究発表】

第一会場

新しい時代の 保育所をめざして

三浦市上宮田小羊保育園園長 瀨副園長は、市の委託を受けた県下初の民間による子育て支援センターの一年間の事業のまとめを発表された。

小澤悦子先生・加藤紀代美先生・近藤正代先生・土屋しげ子先生・渡邊ヒデ子先生への、記念品贈呈があり、会場が大きな拍手で包まれました。

子育て 子育て 共育ち

第42回 関東ブロック保育研究大会・しずおか

北は南アルプスの山々が、南は穏やかな駿河湾が広がり、日本一の富士山を抱える静岡県に於いて七月十七日から十九日の三日間、第四十二回関東ブロック保育研究大会が開催されました。「子どもを産み育てる夢ある社会をめざして、二〇〇一年子育て子育て共育ち・しずおか」のテーマのもとスタッフのさわやかな笑顔に保育関係者千五百余名が迎えられ幕をあけました。初日は素晴らしい大会場のグ



泉首相の待機児童ゼロ作戦の宣言により、「民間にできる事は民間に委ねる」との明言、その他の説明がありました。続いてアトラクションとして再び翔洋高校の吹奏楽があり、クラシックから演歌、最後に歌って踊ってのカップレの演奏で素晴らしい高校生の姿をみせてくれました。第二日目は、十の分科会に分かれそれぞれの会場の研究・検討が行われました。第一分科会で本県から、新

ランシップに於いて、まず東海大学付属翔洋高校吹奏楽部のウェルカムコンサートで始まり、高校生とは思えない様な美しい演奏に会場中がうっとり聞きほれ、終わった時は暑さも疲れも吹きとんで割れんばかりの大拍手でした。開会式の後には「保育行政の動向について」と題して厚生労働省雇用均等児童家庭局の渡利賢司氏より行政説明がありました。小



しい時代の保育所をめざして、三浦市上宮田小羊保育園の子育て支援の発表が、また第六分科会では、県保育士会保育内容研究会より、0歳児が健康に過ごすためにはの発表をされました。どの分科会も保育指針の改定や、規制緩和が進む中で、地域の多様なニーズにいかに対応していくか、一人ひとりの育ちに寄り添えるか、時間が経つのを忘れるほど、熱心な討議が成されました。

演「感じる人でありたい」がありました。この静岡の地でねむの木学園を設立し、様々な活躍をされている宮城さんは「どんな人でも自分を表現できるって素晴らしい」と自然体でやさしい語り口でお話してくださいました。大会宣言決議後、閉会式に入り、次回当番県の神奈川県が富田会長ほか役員による「来年は江の電に乗って」のパフォーマンスを最後に三日間の幕を閉じました。

大会最終日は会場を初日と同じグランシップに戻し「地域子育て支援センター実践報告」と題して栃木県小山市の田熊恵子保育士からの報告がありました。地域の子育てを支援しようと、支援センターことりクラブがスタートしたこと、今では地域の中でなくてはならない存在になっていること、今後は利用者の自主性をひき出すサポートをしていきたいという報告でした。次に宮城まり子さんの記念講演

新任保育士研修会

県保育会が新規に主催する新任保育士研修会が七月三日開催されました。先ず、神奈川県保育会会長の富田英雄氏は、『新任保育士に求められるもの』保育士は母親代わりの役割も担っています。どうぞ「私は保育のプロよ」といえる人になってください。との励ましの言葉に聞き入りました。

次にJALアカデミー講師の河村悦子氏より『豊かな人間関係作り』豊かな人間関係の基本五原則である・挨拶・表情・身だしなみ・言葉遣い・態度について、十九年間のスチュワーデス時代の経験を生かした、実技を交えた上品な講演内容。

午後から『今、保育所に求められる役割』社会福祉基礎構造改革を踏まえた保育サービスのあり方Vのサブタイトルで神奈川県保育会副会長草山充氏は、制度改正の歴史的



次に、劇団「まねっこ」の団長 黒須和清氏による『作ってみせるちいさい劇場』は身のまわりにある生活用品などを使っての人形劇。「まねるは学ぶ」であり、いいものやうまくなり、私が本物と言われるようになりましょう。と、ファンタジーの世界を楽しむことのできた研修でした。

流れ、待機児童解消、規制緩和、苦情解決については現実的に対応が迫られている事を。

第43回関東ブロック保育研究大会（神奈川県大会）

2002年（平成14年）7月3日（水）～5日（金）

全体会：藤沢市民会館 分科会：藤沢市内公共施設、ホテル等

主催 神奈川県、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県保育会、神奈川県保育士会
 後援 厚生労働省、全国社会福祉協議会、全国保育協議会、藤沢市（予定）

現在、実行委員会で、開催準備を行っております。14年に1度の神奈川県での開催です。各保育園におかれましては、協賛金の拠出と大会へのご参加をよろしくお願い申し上げます。

卵・乳・豆・除去お菓子

食器・防災用品・調理器具取扱

有限会社

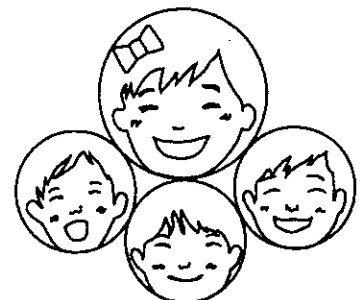
カジユケマ

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野2丁目3-10

専用電話 0466-82-6401 専用FAX 0466-82-1278

※1988年から
 保育園様に納品中です。



カジユケマ・ファミリー

児童福祉主管課長

・ 保育会連絡協議会開催

「児童福祉主管課長と県保育会との連絡協議会」が、去る七月二十七日に、横浜駅にほど近いホテルリッチ横浜にて十八市町の児童福祉主管課長と県から田辺児童福祉課長、飯田少子化問題保育対策推進担当課長代理のご出席をいただき開催された。

冒頭、富田保育会会長は、主催者あいさつの中で、この協議は、十一年前に銀行協会会議室にて、第一回目を開催して発足。以来継続されてきた。このことは、行政側と保育現場との相互理解を深める上において大変大きな意義があると述べられた。引き続き、「公立保育所の新たな経営展開を探る」と題し、全国社会福祉協議会企画部長門廣繁幸氏の講演を傾聴した。内容は政府の経済財政諮問会議、男女共同参画会議、総合規制改革会議の動向において社会保障制度および社会福祉制度に係わる見直し、提言が相次いでいる。

社会保障制度共通の課題としては、社会保険制度間での重複給付の是正や機能分担の見直しの必要性を指摘。子育て支援（保育関係）で

は保育所の公設民営化、多様な保育サービスの拡充等規制改革を行いつつ保育所の「待機児童ゼロ作戦」（最小コストで最良・最大のサービス）を推進するとしている。

男女共同参画会議は「仕事と子育ての両立支援策について」待機児童ゼロ作戦を推進するため平成十四年度中に五万人、さらに十六年度までに十万人分の保育サービスを整備する。保育所の整備にあたっては、民間活力を導入し、公設民営型などの多様化を図るべき。

また、多様な保育サービスに関して特別保育事業の実施率の低い公立保育所の実施率十七パーセントを私立六十二



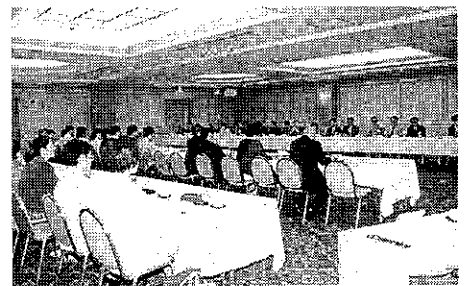
パーセントに近づける。

総合規制改革会議において規制改革の検討に関して、医療・福祉等六分野の重点分野を設定その「中間まとめ」の中で保育分野においては

- ① 公立保育所の民間委託の推進
- ② 認可外保育施設に関する基準設定と補助金の交付検討
- ③ 認可外保育施設の「ライセンス方式」の導入
- ④ 保育所と幼稚園の一体化推進等が見込まれている等々

テーマのみにとどまらず短時間内で中味の濃い講演でした。質疑の後、平成十四年度の第四十三回関東ブロック保育研究大会（神奈川大会）に際して、参加促進、運営委員等の派遣、資金確保など行政への協力を依頼。また、県保育会に設置した「保育園利用者相談室」の第三者委員について、意見・要望等のより良い解決のために大いに活用してほしいとの事業説明が行われた。

引き続き意見交換の中で、藤沢市は、来年の関プロ開催



地として皆様の協力のもとにしっかりとやっていきたい。とあいさつした後、虐待や児童の相談員として、中央児相のOB、元校長を非常勤として起用。八月一日ネットワークの発足により虐待を未然に防止したいと考えていると、取組状況を説明。

横須賀市では、重症の虐待は児相、軽症は市町村でやるべきと思っている。市民病院と保育園で、虐待の一時保育を来年度予算で考えている。海老名市では、児童虐待やDVに対し婦警のOBを雇用。平成十年度に支援センターがスタートし、コミュニティセンター十館へ移動サロンとして出向している。等々。

富田会長は、虐待防止において発見と通報は大事であるが大切なのは日々の対応であると会を結ばれた。意見交換会の後、懇談会に移り、和気藹々の空気の中幕を閉じた。

藤沢市ファミリー・サポートセンター



藤沢市ファミリー・サポート・センターの事務局は、小田急江ノ島線の本鵜沼駅より徒歩五分の鵜沼保育園の中に併設されています。南側ガラス窓が道路に面しているので、十分な明るさと広々とした空間です。

ここには毎日、子どもを連れてお母さんが来られます。

残業やローテーション勤務で保育施設に間に合わないお母さん。引越して来たばかりで、知り合いもなく心細いお母さん。よく泣かれるので、抱いてばかりいて腕や腰を痛めてしまったお母さん。アドバイザーに抱かれている九カ月の赤ちゃんをまじまじと見ていたお母さんは、『他人に抱かれている我が子をこんな風に見るのは初めてです。不思議な感じですよ。』と、柔らかな表情になりました。

時には四組くらい重なることもありますが、基本的には個別に対応しています。かたわらで子どもたちが抱かれたり、遊んだりしているのを眺めながら、どのような預かりを希望されているのか、お母さんからお話しを伺います。

活動後には報告書から預けられている時の子どもの様子がわかりますので、お母さんたちは安心して、『とても良い方を紹介して頂きました。』と喜ばれています。

残業時の夕食までの依頼では、『うちの子は食が細くて

時には、『私はうまく叱れないので、いけない時には遠慮なく叱ってください。』と言われるお母さんには、思わずまかせて会員さんと顔を見合わせて微笑む一コマもありました。

時には、『あなたは素敵な仕事をされているんだから、才能を生かして頑張ってください。でも一番大事な事は子育てだということとを忘れないでね。そのため

に私たち先輩や社会全体が協力して、支えていかなければいけないと思いますから。』

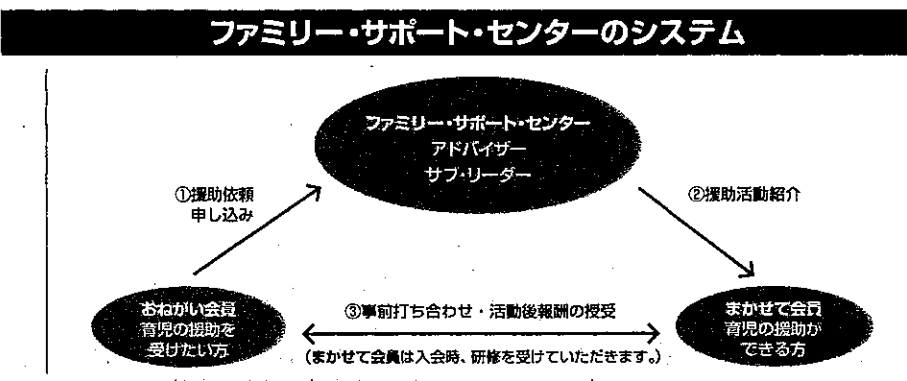
去年の十月の活動開始よりわずか半年で月四百二件の驚くべき活動実績は、まかせて会員さん一人ひとりの地道で寛容な活動の積み重ねによる

あまり食べません。』とのことでしたが、実際には驚くほどたくさん食べて、お母さんもビックリされたとのことでした。時間帯と雰囲気、子どもの食欲も変わるといいうことでしょう。

毎日、Y君のお迎えをしているKさんは、保育園の子どもたちから『Y君のおばあちゃん』と呼ばれています。

少し障害のある子どもさんを毎日根気強く学校まで送り届けている方もおられます。

或るまかせて会員さんは事前打合せの時にこのように言われました。



ものです。

お母さんたちのニーズとまかせて会員さんの良識とを結んでゆくこの事業は、子どもたちの環境をも一回り明るく広げてゆける可能性を含んでいると思われまます。さらに地域への浸透を期待してゆきたいと願っています。

「保育園利用者相談室」

連絡会議を開催

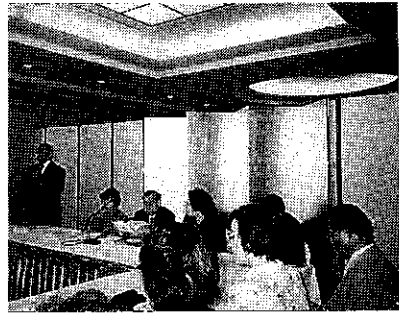
本年四月一日に神奈川県保育会に設置された、第三者委員会としての「保育園利用者相談室」の連絡会議が八月二十一日午後三時からホテルリッチ横浜において開催された。

会員数三十八園中二十三園の出席の中、事務局である草山副会長の司会で開会され富田会長の挨拶の後、第三者委員に就任された箕原(前鎌倉女子大教授)、小林(聖セシリア女子短期大学教授)、宮田(神奈川県保育会副会長)、鈴木(相武台新日本保育園園長)の各氏の紹介があった。

議題は、加入状況の報告、相談室の運営及び利用方法についての説明、そして、加入会員の自己紹介をしながら、現状での各保育園における意見・要望等の受理状況について一人一人発言した。利用者からの意見要望は当然のこととして、地域からの要望にも答えようとする積極的な意見が多くみられ、さらに対応する職員教育の必要性、信頼関係の維持の方法などが報告さ

れた。

また、保育会への要望等もあり、今後の「保育園利用者相談室」の運営に大変参考となった。会議の総括として、箕原委員より、保育園の自己評価と第三者委員の客観的評価のバランスが取れて子どもへの健全育成につながるお話しや、小林委員からは、ご自身の経験を踏まえながら、キーパーソンの必要性等のアドバイスなどをいただいた。当日、苦情解決に向けてのマニユアルも配布され内容の濃い連絡会議となった。今後も会員相互の情報交換や研修などを取り入れ、年間二回から三回連絡会議を行う意向を確認した後、引き続き、懇親会に移り委員の先生方と加入会員が親しく懇談する場面が見られ盛



編集後記

世紀が変わっても政治・経済・社会に明るさが見えてこない。

内閣や省庁が改変されても子ども達に暖かい日差しが注してこない。

制度が変わり利用者が保育所を選べるようになった。利用者には預けたい親と預けられる子どもが居る。保育関係者の努力も空しく地域によっては、待機児童が多く認可外保育所利用者も多い。

認可外保育所の事故が多い昨今、その対策の一環として待機児童ゼロ作戦は有効な手段と思うが、今の行政施策は、早く、安く、親の利便性優先の施策のように思えてならない。

キレる幼児が増加傾向にある今こそ、子どもの最善の利益を優先に子どもを中心に置いた施策こそ肝要と思うこの頃である。そんな保育をされている園やホットな記事がございましたらお寄せ下さい。最後になりましたが五十五号発刊にあたり、お忙しい中寄稿下さった皆様に心からお礼を申しあげます。

当社は

きれいなすなば

をモットーに園児のあそび場として大切なすな場の年間管理をしております



年間管理システムによる

サンド・クレンジング・サービス

Step1 加熱殺菌殺虫処理

Step2 37度 オゾン水殺菌処理

Step3 67度 熱水殺虫処理

Step4 97度 オゾン水殺菌処理

※Step 1～4 処理時、異物除去

コスモ石油グループ トコス エンタプライズ株式会社 サンドクレンジング事業担当

〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町9-1 TEL.045-521-2050 FAX.045-521-2569 Internet HomePage : http://www.comotas.co.jp